

四季が丘未来づくりプロジェクト～ふるさとのために私たちにできること～

本単元で育成する資質・能力

課題発見力

思考力・判断力・表現力

主体性

自己肯定感

1 単元について

【単元観】

四季が丘は、山林を宅地造成して開発されたニュータウンである。四季が丘公園（ボポロの森）の満開の桜やブルーパール通りの爽やかな新緑、街一帯の櫟並木の紅葉、真っ白な雪景色など、街の名の通り四季折々の自然の姿の魅力を感じることができる。

地理的には、海岸からせり上がった標高60～140mほどの丘陵に位置している。宅地造成以前は一面の山林であったため、地質は花崗岩主体でもろく、土砂災害の危険性が高い。そのため、万が一の自然災害に備え、まちを守るために砂防堰堤やハザードマップなどの対策が講じられている。また、ハード対策だけでなく地域の防災の取組であるソフト対策も充実しており、平成16年に四季が丘地区自主防災連絡協議会が発足し、防災マップの作成や全町内会での防災訓練、大学教授による防災講演会など、自主防災活動が継続的に実施されている。3年前からは市と連携し、「チャレンジぼうさい in 四季が丘」を立ち上げ、「災害」・「まち」・「ひと」を知ることが『防災』に繋がることを伝え、地区住民の防災意識の底上げに取り組んでいる。丁目ごとの防災訓練では、防災意識を高めるだけでなく、人と人のかかわりにつながる活動も積極的に行われている。また、「人と人をつなげる」地域の活動は、防災に関する活動だけでなく、学校支援ボランティア（四季っ子応援団）や見守り隊など、「地域で子どもを育てたい。」という思いを大切に、様々な行事や活動が計画されている。

人口構成については、まちの老年人口が年少人口を超え、20年後の老年人口の割合は全体の4割になるということが予想されている。1987年の分譲開始から数年は人口増加が見られ、10年後の1997年頃の本校児童数は1000人に届く勢いがあった。しかし、その後、減少を続けており、現在は307人となっている。

本単元は、自分たちの住んでいる地域が、少子高齢化問題をかかえているという課題に気づき、四季が丘の明るい未来を描き、四季が丘を元気にするために、地域の担い手としての自分について認識していくことができる活動として適している。

地域の人々の願いや考え、地域のために続けている取組について知ることによって「人のつながり」の重要性を認識し、その観点から地域の理想とする未来を描き、豊かな町の実現に向けて一歩を踏み出す意欲を培い、積極的に行動しようとする態度を育てることをねらいとして設定した。

【児童観】

児童は、地域に起こり得る災害（土砂災害）について前学年で調べ、災害からくらしを守るための取組についてまとめる活動を行った。

今年度はこれまでに、土砂災害以外の災害時の対処と行動について学習した。いざというとき、地域の人たちと協力し、みんなで行動を起こすことや、日頃から「人とのつながり」を意識し、つながっていることの大切さに気付くことができた。また、地域の有志で立ち上げた「四季が丘プロジェクトE」の方々に、防災キャンプについての話を聞く活動を通して、災害が起きたときに大切なことは、自分の命は自分で守る（自助）、地域の人々と助け合う（共助）ということだと学ぶことができた。

単元に入る前に児童アンケートを実施したところ、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」では、ビンゴ大会や屋台のある「夏祭り」はもちろん、町内掃除への関心も高く、ほぼ全員が参加したことがあると答えている。これは、昨年度の6年生の取組から「町内掃除」があることを知り、それをきっかけに参加したためと考えられる。しかし、「町のために」「地域のために」を意識して活動している児童は少なく、積極的に動こうとする姿勢や態度は弱い。

「四季が丘のまちのよいところ・我慢できること」では、「自然に囲まれている」「雑草がなく、ゴミも落ちていない」など「町がきれい」と答えている児童が多い。また、「人々の交流が盛ん」「近所でふれあいがある」など、「人々のつながり」を挙げている児童も多い。しかし、具体的な取組や、どんな思いで行っているか、地域の人々との絆を強めるために自分たちができていることについて考えている児童は少ない。

7月と10月に行った資質・能力に関わるアンケート結果では、思考力・判断力についての肯定的評価が69%から80%と向上が見られた。「整理・分析」の場面で積極的に思考ツールを活用し、友達と関わりながら収集した情報を可視化・操作化しながら比較・検討する活動を多く取り入れた結果だととらえている。

【指導観】

単元構想では、「課題の設定」の場面で、「人・もの・こと」の視点で四季が丘のよいところを交流した後、本校児童数の推移の表や人口ピラミッドを提示し、今日的課題である少子高齢化という現状を知ることによって、大好きな我がまちの未来存続について危機感を持たせ、一人ひとりにしっかり課題意識をもたせる。

「情報の収集」の場面では、中学校と連携した防災教室での学びを振り返ったり、地域の高齢者からまちづくりについての思いを聞いたりすることで、地域の活動に関わっていくことやその活動を引き継いでいくことの必要性に気付かせる。地域の人々とのつながりをつくるための取組や内容についてはインタビューを行い、町内清掃や防災活動等のさまざまな情報を収集できるようにする。

「整理・分析」の場面では、自分たちにできそうな取組をバックキャストイングをもとに企画書を作成する。作成にあたっては、Xチャートや座標軸などの思考ツールを作って、情報の弱いものや関連の薄いものは整理し、効果的な情報に絞らせたい。その情報を構成して交流し合うことを通して、意図が明確で分かりやすい提案につなげていく。企画の内容については、廿日市市分権政策部シティプロモーション室と連携し、提案へ向けて魅力あるまちづくりという視点からアドバイスをいただき、後の学習につなげていくようにする。昨年度の6年生の取組に関連付けながら、中学校との連携も視野に入れた企画となるよう方向付けたい。

本単元は、国語科の「町の未来をえがこう」の学習と関連づけながら学習を進め、児童に地域のコミュニティデザインの考え方への理解を促す。また、1学期の国語科の「新聞の投書を読んで意見を書こう」の学習から身に付けた「説得の工夫」を生かし、地域の人々と共に行動していくための発信として、聞き手が納得する説得の工夫を取り入れた提案をめざす。

本単元の学びを通じて、自分たちの住んでいる地域に誇りや夢がもてるようにし、まちの未来への展望や、自分自身の将来のビジョンについて考えさせていき、本校の教育目標「夢や志をもってチャレンジするたくましい児童の育成」を図りたい。

2 単元の目標

自分たちの地域の課題を見つけ、地域の取組や地域の方々の願いや考えから、地域の一員として、自分たちにできることを思考・判断・発信することを通して、豊かな未来の担い手として「人と人をつなげる」活動を実現しようとする態度を育てる。

3 単元の評価規準

スキル	学習方法	課題発見力	① まちづくりに関わる人々とその人々の思いや取組に触れることを通して課題を発見する。 ② 「地域の人々のつながりを強くするために、自分たちにできること」を考え、発信する」という課題を発見する。
		思考力	① グラフ、表、カード等を活用して、まちのコミュニティなどさまざまな情報を比較、分類、関連づけて考えることができています。 ② 見通しをもって、地域の行事や参加状況などの調査活動や情報収集についての計画を立てている。 ③ 「地域の人々のつながりを強くするために、自分たちにできること」を発信する目的や伝える相手に合った内容にしようと思えることができる。
		判断力	① まちづくりに関わる人々とその人々の思いや取組について調べたことやゲストティーチャーの話、アンケート結果などから得た情報から必要なものを判断している。 ② 「地域の人々のつながりを強くするために、何ができるのか」という視点で事実や根拠をもとに自分の考えを結論づけている。
		表現力	① 調べたことやゲストティーチャーの話、アンケート結果などから得た情報をもとに、相手や目的に応じて地域の人々のつながりを強くするために伝えたいことをまとめている。 ② 資料を効果的に活用しながら、「地域のつながりを強くするために、自分たちにできること」を企画書に整理し、表現している。
意欲態度	自分自身	主体性	① 「地域の人々のつながりを強くするために、自分たちにできること」について考えたことを積極的に伝えたり、他者の異なる意見を受け止めたりしている。 ② アドバイスを受けて、人々のつながりを強くするための取組について、新しい視点から情報収集をしたり、発信するための表現活動に取り組んだりしている。
価値観倫理観	他者や社会	自己肯定感	① 学習を振り返り、自分の学習へ向かう姿勢を肯定的に捉えることができています。 ② 学習を振り返り、自分の生活を見つめたり、生活に生かしたりしようとしている。

4 指導と評価の計画(全30時間)

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
課題の設定 (1) <div> 四季小の児童数の推移や、四季が丘の人口ピラミッドから課題を見つける。 </div> <div> ○児童数が激減している。 ○若い人が少なく、お年寄りが多い。 ○このままでは、四季が丘小がなくなってしまう。 </div> <div> 少子高齢化に気づき、今の現状に危機感を持ち始める。 </div> <div> 四季が丘の未来をえがき、自分たちができることについて考えよう。 </div>		■このままでは、四季が丘は高齢化が進み、四季が丘の良さとなっている行事がなくなってしまうという声を出させる。
情報の収集 (1) ① <div> 地域の高齢者に話を聞く。 </div> <div> ○四季が丘にはたくさんの行事があるが、携わっているのは地域のお年寄りが多い。 ○美化に力を入れ、きれいな街づくりを目指している。 </div> <div> 課題への意識が高まってくる。 </div> <div> 情報収集のための計画を立てる。 </div> <div> ○誰に何を聞こうかな。 ○まずは、家族に四季が丘で行われている行事について聞いてみよう。 </div> <div> 四季が丘の現状について、自分たちで調べたいという意欲が高まる。 </div> <div> 四季が丘の魅力や現状、行われている取組についての情報を集める。 </div> <div> ○町内会長さんに、町内清掃について聞いてみよう。 ○陽だまりポポロでは、どんな活動を行っているか調べてみよう。 </div> <div> 地域の活動に関わっているのは、高齢者が多いことに気づき、自分たちの親世代や自分たちが引き継いでいく必要があると感じ始める。 </div>		<div> 【国語科】「町の未来をえがこう」の学習活動との関連 </div> <div> 【家庭科】「あなたは家庭や地域の宝物」の学習活動との関連 </div> <div> 【道徳】「地震で学んだこと」の学習活動との関連 </div>
整理・分析 (1) ① <div> 四季が丘の魅力や、行われている取組について調べたことを交流し、整理する。 </div> <div> ○地域をよりよくするための行事は、楽しいものだけではなく、生活や防災に関わるものもあるんだな。 </div> <div> 企画や運営についてもっとくわしく知りたいという思いがさらに高まってくる。 </div>		■9月13日の中学生との防災教室を振り返り、自分たちが中心となることができる行動があったことを想起させる。
		■放課後を利用して、地域の人へのインタビューを行う。
		■思考ツール（Xチャートシート）を使って町の様子、行事、防災・防犯、コミュニティの情報を整理させる。

<div data-bbox="193 203 644 264" data-label="Section-Header"> <h3>情報収集（１）②</h3> </div> <div data-bbox="177 291 485 443" data-label="Text"> <p>さらに人々のつながりをつくるための取組や内容についての情報を集める。</p> </div>	<div data-bbox="507 286 1019 389" data-label="Text"> <p>○自分たちが地域の人、これから住む人に発信したい内容を決めよう。</p> </div> <div data-bbox="507 416 1019 501" data-label="Text"> <p>自分たちでにできそうなことがはっきりしてくる。</p> </div>	
<div data-bbox="177 528 632 589" data-label="Section-Header"> <h3>整理分析（１）②</h3> </div> <div data-bbox="177 616 485 739" data-label="Text"> <p>人々のつながりをつくるための取組や内容について収集した情報を比較・分類する。</p> </div>	<div data-bbox="507 611 1019 763" data-label="Text"> <p>○四季が丘で行われている防災活動についての取組を知ってもらいたい。 ○町内そうじは毎月あるので、もっと多くの人に知ってもらい参加してほしい。 ○行事をもっと盛り上げていきたいな。</p> </div> <div data-bbox="507 790 1019 936" data-label="Text"> <p>座標軸を使い、情報発信の必要性が高いものに気付き、発信していきたいという思いがさらに高まってくる。</p> </div>	<div data-bbox="1042 808 1422 882" data-label="Text"> <p>■「より必要なもの」という序列化で視点を絞り込む。</p> </div>
<div data-bbox="177 990 625 1050" data-label="Section-Header"> <h3>まとめ・創造・表現（１）</h3> </div> <div data-bbox="177 1077 485 1200" data-label="Text"> <p>人々のつながりをつくるための取組や内容について整理した情報のまとめ。</p> </div> <div data-bbox="177 1406 485 1529" data-label="Text"> <p>地域のために自分たちができることを提案資料にまとめ、紹介する。</p> </div> <div data-bbox="177 1736 485 1899" data-label="Text"> <p>ゲストティーチャーに自分たちが考えた取組を発表し、改善点を考える。 (本時)</p> </div>	<div data-bbox="507 1077 1019 1223" data-label="Text"> <p>○ぼくたちのグループは、とんどの参加者を増やすために、ポスターで呼びかけたいな。 ○ぼくたちができるお手伝いはないかな。 ○新しいイベントを企画したいな。</p> </div> <div data-bbox="507 1272 1019 1375" data-label="Text"> <p>調べたことを伝え、地域の人へ広げたいという思いが高まってくる。</p> </div> <div data-bbox="507 1402 1019 1576" data-label="Text"> <p>○とんどの参加者を増やすために、おもちを丸める手伝いをしよう。 ○他のグループはどんな企画を考えているかな。 ○町内清掃は、たくさんのグループが紹介しているから大切なんだね。</p> </div> <div data-bbox="507 1603 1019 1680" data-label="Text"> <p>交流し合うことで、思いが高まる。</p> </div> <div data-bbox="507 1736 1019 1865" data-label="Text"> <p>○「だれに」「何を」「どのように」をはっきりとさせる必要があるね。 ○「自分たちで」できるものを考えないといけないね。</p> </div> <div data-bbox="507 1892 1019 1995" data-label="Text"> <p>相手や目的を意識し、地域のためにできる取組を実践したいという思いが高まってくる。</p> </div>	<div data-bbox="1042 1070 1414 1189" data-label="Text"> <p>【国語科】「町の未来をえこう」の学習活動との関連 バックキャストिंग</p> </div> <div data-bbox="1042 1361 1414 1487" data-label="Text"> <p>【国語科】「新聞の投書を読んで意見を書こう」の学習活動との関連</p> </div> <div data-bbox="1042 1541 1422 1731" data-label="Text"> <p>■地域の魅力を伝える取組や内容についての自分の考えを積極的に伝えたり、他者の異なる意見を受け止めたりさせる。</p> </div> <div data-bbox="1042 1780 1422 1892" data-label="Text"> <p>■学習を振り返って改善点を見つけ、自分たちに足りなかった視点に気づかせる。</p> </div>

<div data-bbox="188 210 639 286" data-label="Section-Header"> <h2>課題設定（２）</h2> </div> <div data-bbox="188 304 480 477" data-label="Text"> <p>改善点から、地域の人々のつながりを深めるためにできることを考え、取組内容や資料の作り方や、作成した資料を発信する方法を考える。</p> </div>	<div data-bbox="507 293 1018 432" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ○今いる人に向けて発信する必要があるな。 ○ポスターよりも、自分たちの言葉で呼びかけるほうが伝わりそうだな。 </div>	
<div data-bbox="196 504 975 573" data-label="Text"> <p>意図を明確に伝えるために、資料を効果的に活用して発信しよう。</p> </div>		<div data-bbox="1038 472 1407 595" data-label="Text"> <p>【国語科】「新聞の投書を読んで意見を書こう」の学習活動との関連</p> </div>
<div data-bbox="177 613 632 678" data-label="Section-Header"> <h2>情報収集（２）</h2> </div> <div data-bbox="177 719 488 817" data-label="Text"> <p>作り直す資料に必要な情報を集める。</p> </div>	<div data-bbox="507 719 1018 857" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ○「〇〇〇」について必要な情報を集めないといけないな。 ○実際に参加した人にインタビューをしてみよう。 </div> <div data-bbox="507 882 1018 960" data-label="Text"> <p>必要な情報を考え、情報収集している。</p> </div>	
<div data-bbox="177 1021 632 1084" data-label="Section-Header"> <h2>整理・分析（２）</h2> </div> <div data-bbox="177 1113 488 1200" data-label="Text"> <p>発信のための効果的な方法について考える。</p> </div>	<div data-bbox="507 1113 1018 1232" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ○授業参観の時に、おうちの人へ伝えよう。 ○朝会で、全校児童に伝えよう。 ○地域の人には、回覧板で伝えよう。 </div> <div data-bbox="507 1263 1018 1373" data-label="Text"> <p>効果的な発信の仕方について考え、伝えたいという思いがさらに高まる。</p> </div>	
<div data-bbox="177 1397 632 1460" data-label="Section-Header"> <h2>まとめ・創造・表現（２）</h2> </div> <div data-bbox="188 1520 480 1615" data-label="Text"> <p>地域をよりよくするための取組が相手によく伝わるように作り直す。</p> </div> <div data-bbox="188 1787 480 1886" data-label="Text"> <p>発表の練習をする。</p> </div>	<div data-bbox="507 1520 1018 1648" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ○相手を説得させるために、具体的な数値を使って書こう。 ○実際に参加した人の言葉を入れて、説得力をもたせよう。 </div> <div data-bbox="507 1680 1018 1758" data-label="Text"> <p>相手を意識し、よりわかりやすいものを作ろうとする思いが高まってくる。</p> </div> <div data-bbox="507 1787 1018 1924" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの発表を聞いて、四季が丘に関心をもってくれる人が増えたらいいな。 ○自分たちが発信したことによって、地域の人々のつながりが深まるといいな。 </div>	<div data-bbox="1038 1520 1407 1644" data-label="Text"> <p>【国語科】「新聞の投書を読んで意見を書こう」の学習活動との関連</p> </div>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p>クラスで作り直した資料や発表を交流し、改善点を交流する。</p>	<p>○具体的に示す必要があるね。 ○自分の経験を語っていたから説得力があるね。</p> <p>限られた紙面や、時間の中で、より伝えたい内容を考えようとする。</p>	
<p>資料の清書をし、アドバイスをそって発表の練習をする。</p>	<p>○多くの人に伝わるように、声の大きさを意識しよう。 ○自分たちの発信で、多くの人に関心をもってくれればいいな。</p> <p>アドバイスをもとに清書することで、より伝えたい思いが高まる。</p>	
<p>実行</p>		
<p>他学年に作り直した資料を発表したり、地域にちらしを配布したりする。</p>	<p>○うまく伝わったかな。 ○自分たちの発表を聞いて、(清掃)活動に参加してくれる人が増えればいいな。</p> <p>地域や四季小の人と一緒に活動したいという思いが高まる。</p>	
<p>振り返り</p>		
<p>活動全体を振り返り、中学生になってできることやしたいことを考える。</p>	<p>○中学生になっても、地域のために、自分たちができることを続けていきたい。 ○地域の一員として、四季が丘の人々のつながりを深める活動を続けていきたい。</p> <p>地域の人々の願いや考えを大切にし、その実現に向けて自分たちができることを続けていこうとする思いが高まる。</p>	<p>■地域の活性化のためには、人と人とのつながりが大切だということを確認させる。</p>

5 本時の目標

- ・自分たちが考えた企画についてゲストティーチャーからアドバイスをいただき、よりよくするための課題を見つけ、改善点を考えることができる。

6 本時の展開

	学習活動（時間）	◇指導上の留意点 ・予想される児童の反応 ◆主体的な学びを促す教師の手立て	評価規準（評価方法）
課題の設定	1 前時の学習内容を確認する。 （3分）	◇「思い」や「願い」について、分かったうえで、自分たちにできることを考えた経過を振り返る。 ・地域の人々をつなぐために自分たちにできることを考えました。	
	2 学習のめあてを確認する。 （2分）	◆廿日市市役所の町づくりのプロからアドバイスがもらえることを知らせ、意欲をもたせる。	
情報の収集	㊦バックキャストから、考えた取組の改善点について考えることができる。		
	3 取組を発表する。（5分）	◆よりよい提案とするためのヒントをもらえる大切な時間であることを確認する。 ・私たちのグループは、四季が丘で行われている行事の1つである「とんど」について考えました。ゲストティーチャーの方の話や、地域の人へのインタビューによると、とんどを運営する人や参加者が少ないと聞きました。もっと人を増やすために、ビンゴやもちつきが行われていることについてポスターを掲示して呼びかけたいです。	【思考力】 ・「地域の人々のつながりを強くするために、自分たちにできること」を発信する目的や伝える相手に合った内容にしようと思えることができる。（行動観察）
整理・分析	4 発表を聞いて、アドバイスをいただく。（8分）	◆アドバイスのポイント（キーワード）を板書する。	
	5 ゲストティーチャーの話から、課題を見出す。（12分）	◇自分たちの提案についての改善点を、アドバイスのポイントにそってグループで話し合わせる。 ◆1グループへのアドバイスは、全てのグループに関わっていることを確認する。 ◆キーワードにそって考えることを意識させる。	
まとめ	6 考えたことを交流する。 （10分）	・自分たちのグループは、とんどの参加者だけではなく、運営する人を増やすための方法も考えないといけないね。また、呼びかける方法として、公園にポスターを掲示することにしていただけれど、ポスターだとそれを見る人が限られてしまうので、「誰に」「何を」「どんな方法」で伝えるかよく考えないといけないね。	
振り返り	7 本時の学習をふり返る。 （5分）	◇振り返りの視点を示すことで、自己の変容に気づけるようにする。	【思考力】 ・「地域の人々のつながりを強くするために、自分たちにできること」を発信する目的や伝える相手に合った内容にしようと思えることができる。（ワークシート）
	㊧アドバイスを聞いて、私たち子どもが積極的に町の行事に参加する事で、私たちの親や大人の参加も増えるということがわかりました。また、今ある財産を残すために、1回限りの取組で終わるのではなく、この先、とんどを続けていけるように考えることが大切だと思いました。自分たちが思い描く未来の四季が丘に近づけるよう、自分たちができることをもっとくわしく考えていきたいです。		
課題の設定		◇学習が次時につながるようにする。	

7 板書計画

11 / 29 (水)

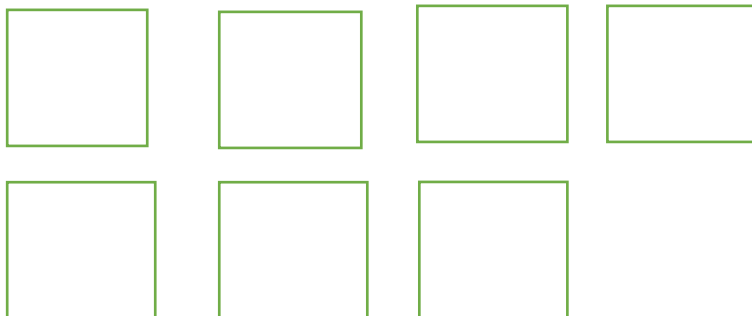
<改善点>

㊦ バックカスティングから、考えた取組の改善点について考えることができる。

今あるものを受けつぐ

継続

自分たちでできる



思い描く未来へ向けて いざ実践！